

主要施策6 これからの社会に対応した人材育成

4年度当初	1,965,300千円
[+3年度2月補正	400,057千円]
(3年度当初	1,990,040千円
+2年度2月補正	2,297,720千円)

【基本的な考え方】

現在、急速な情報通信ネットワークの高度化やグローバル化が進展しており、今後は超スマート社会と言われる「Society5.0」の到来が予想され、これらに対応するためには、課題発見・解決能力等を育成することが必要である。そこで、保護者負担による1人1台端末の導入により情報活用能力や課題発見・解決能力を伸ばすとともに、英語教育の充実により英語でのコミュニケーション能力を伸ばすための教育環境を整える。

[Society5.0とは]

狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会で、わが国が目指すべき社会の姿として提唱されている。

1 1人1台端末の導入に伴うICT環境の整備

① 高等学校用パソコン借上整備費

1人1台端末の導入により、ICTを活用した生徒の学習活動の充実を図るとともに、これまで県立高校等に配備された端末や、プロジェクター等のICT機器を積極的に活用する。

1,429,524千円

② 生徒用無線LAN等整備事業費

1人1台端末の導入により、端末等の多様な活用に対応できるよう、県立高校等に整備した無線LANのアクセスポイントを増設し、円滑な通信環境を確保する。

144,395千円



グループワークの様子



③ 指導者用情報機器整備事業費

1人1台端末の導入により、ICTを活用した教育活動の充実を図るため、県立高校等に指導者用端末を整備する。

[3年度2月補正
192,960千円]

④ GIGAスクール運営支援センターの設置（再掲）

ICTを活用した教育活動をより円滑に展開するため、ヘルプデスク等を担う「GIGAスクール運営支援センター」を開設し、県立学校及び市町村立学校（政令市・中核市を除く）に必要な支援を実施する。

[3年度2月補正
207,097千円]

2 グローバル人材の育成

⑤ 小学校外国語教育（英語）における指導体制の充実

市町村立小学校（政令市を除く）における外国語教育（英語）の教科化への対応として、英語力を有し、質の高い英語教育を行うための専科教員を配置（68人）し、新学習指導要領の円滑な実施と、学級担任の負担軽減を図る。	人件費対応
---	-------

⑥ 外国人による語学指導推進事業費

全県立高校等に配置している外国語指導助手（ALT）と教員とのチーム・ティーチング等により、授業をさらに充実させ、生徒の英語によるコミュニケーション能力、特に発信力（話す力）を強化する。	356,598千円
--	-----------

⑦ 英語資格検定試験活用促進支援事業費

生徒の英語力向上をめざして、英語資格・検定試験の受験を促進するため、英語資格・検定試験の受験に係る支援を実施し、生徒の英語4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）をバランスよく育成するとともに、県立高校等の授業改善に活用する（5,000人程度を上限として、検定料の半額程度を補助）。	25,050千円
--	----------

⑧ 地域人材による生徒支援事業費

地域人材を活用し、横浜北東・川崎地域における外国につながるのある県立高校生徒を対象として、毎週末に日本語・学習支援を行うとともに、県立高校への入学予定者に対して3月後半にプレスクールとして日本語指導を行うなど、学校における既存の支援と合わせて、入学前から卒業までのトータル的な支援につなげる。	4,800千円
--	---------

3 「Society5.0」を生き抜く人材の育成

⑨ 新 神奈川総合高等学校舞台芸術科における外部専門講師の活用

神奈川総合高等学校において令和4年度から開講される「伝統芸能」「舞台表現演習」の講座について、高度な専門性を有する外部専門講師を活用し、豊かなコミュニケーション能力や表現力を育成するための教育活動を充実する。	2,683千円 (一部人件費対応)
--	----------------------

⑩ 専門学科デュアルシステム推進事業費

農業、工業などの専門学科における長期間の企業における実習の推進に向け、産業界との調整や地域の課題を解決するプログラムの開発などについて、専門的見地を持ってコーディネートできる人材を配置する。	1,450千円
---	---------

⑪ 文化芸術教育支援事業費

先端技術をより効果的に使いこなしていくためには、豊かな感性や情操を育む必要があることから、本物の伝統芸能や舞台芸術を生徒が直接体験するための県立高校等の企画を充実する。	800千円
--	-------

(問合せ先)

- 【①～④県立学校、⑨、⑪】 教育局指導部高校教育課高校教育企画室 室長 蘇武 電話 045-210-8370
 【④市町村立学校、⑤】 教育局支援部子ども教育支援課 課長 古島 電話 045-210-8212
 【⑤】 教育局行政部教職員人事課 課長 羽鹿 電話 045-210-8133
 【⑥～⑧、⑩】 教育局指導部高校教育課 課長 増田 電話 045-210-8240